

NPO法人うしく里山の会 牛久自然観察の森の指定管理者へ

牛久自然観察の森担当理事 齊藤孝

去る平成17年12月12日(月)、平成17年度牛久市議会第四回定例会において、牛久自然観察の森の平成18年度～22年度(5年間)の指定管理者を本会とする議案が賛成多数で可決されました。これにより、本会は平成18年4月1日より平成23年3月31日までの5年間、牛久自然観察の森の指定管理者として牛久市と協定を結び、施設の全般的な運営に携わっていくこととなりました。

具体的な前準備としては、平成18年1月末まで市役所担当課との業務詳細に関する協議が行われます。この協議の席上では、平成17年10月22日～11月23日まで行われた『指定管理者申請に関する一般会員向け説明会』で会員の皆様から寄せられた質問や提案も提示する予定です。そして2月中旬をめぐり本協定への調印を行い、2月末までに平成18年度の事業計画書を提出します。この、2月に行う事務的な作業と並行して、会員の皆様から有志を募り「観察の森サポーター検討会」を開催いたします。(開催日時など詳細は次号の会報でお知らせいたしますが、より多くの皆様に参加出来るよう、平日、平日夜間、土日の3種類の時間設定を予定しています。)

うしく里山の会 広報誌

題字は 山田 美智子

さとやま

No.35

平成18年1月

発行 NPO法人 うしく里山の会

事務局 〒300-1236 牛久市田宮町808-20

TEL 029-801-2500 (代表 坂 弘毅)

E-mail u_satoyama@infoseek.jp

HP <http://u-satoyama.web.infoseek.co.jp/>

先月、先々月とこの会報で今年度の観察の森での受託事業の内容を紹介して参りましたが、来年度はこれまで以上に「里山の会らしさ」を打ち出していけるようになります。もちろん、私たちはあくまで観察の森を100年先の未来へと引き継ぐリレー走者の一員にすぎません。ですから、森の先輩方が16年間にわたり大切に守ってきたバトンをしっかりと受け継ぎ、これから5年間という貴重な時間をサポーターの皆様と共に精一杯駆け抜けていきたいと思っております。皆様どうぞご協力ください。また、今回の指定決定を受け、牛久自然観察の森の運営・施設管理を担う職員の増員ならびに募集を行うことになりました。「新たな立場で森に関わりたい」という皆さん、どうぞ別紙の職員募集要項をご覧ください。

里山との出会い

牛久自然観察の森 コーディネーター 渡辺浩美

「牛久自然観察の森」の看板を見つけて15年、新しい物見たさで初めて森を訪れました。できたての森は明るく、散歩には最適の場所でした。それから子どもと共に、行事の参加者として楽しい時間を過ごさせていただきました。また、「しぜんっこくらぶ」「雑木林の会」などやりがいのあるボランティアを経験させていただき、「里山」という言葉と出会いました。そして、レンジャーとして採用され、仕事として森と関わるようになったとき、今まで見えなかった事に気づきました。それは、森の開園から閉園まで見届けることであり、来園者の安全管理、様々な管理作業、清掃など一来園者としては当たり前の状態が多くの人手が掛かっていたということです。

今年度は、「うしく里山の会」の職員として、業務をさせていただいていますが、まだまだ充分ではありません。3月までに、もっとよい「里山」であるよう努力していきたいと思っております。どうぞご指導よろしくお願いたします。

里山は生きもの交差点

牛久自然観察の森 コーディネーター 依田 武則

「うわーカブトムシだ！」子どもたちの声が響く雑木林。観察の森で毎年夏に見られる光景です。

長野県で生まれ育った私には自然は身近な存在でした。春は田んぼでホタル観察、川では魚を手づかみし、夏の山ではカブトムシやミヤマクワガタを追いかけていました。そんな幼い頃の体験が仕事という形で実現するなど思ってもいませんでした。思いを続けると叶うのですね。

働き初めて5年間、里山という環境の中での活動を通じて私が学んだことは、「里山」というフィールドの無限の可能性でした。人が生活する近くの雑木林、竹林、田んぼ畑、小川そこには昔からの知恵や教訓が詰まっています。そして、人間の思いとそれに添うように生きる無数の生きものたち。子どもも大人も経歴も職業も関係なく、「里山」を通じてふれあう事ができるのです。

「ドンマイドンマイ！前向いて行こう！！」人生色々あるけど、たまにゆっくりもいいんじゃない？足元を見ると一生懸命に生きる動植物がいます。「フウ～」と深呼吸をして前を向く。そんなちょっとづつの勇気を与え続けてくれる私にとって「里山」とはそんな存在なのです。

平成15年1月撮影 定点撮影資料より



平成17年第12回運営会議

日時：平成17年12月3日（土）9：30～12：30
場所：牛久自然観察の森（ボランティア室）

【定足数の確認】

議席数23名、12名出席。1/2以上の出席、本会議は成立。

【全体スケジュールの確認】

月間スケジュール表を議事録と一緒にメール配信、又は、郵送致します。

【全体連絡】

1. 指定管理者制度は、市と仮協定の調印を行う。12日に議会承認予定。
2. 小野川探検隊26日実施。150名の予定が、親子で32名と低調。
会からは、坂他4名が参加。県よりの謝礼3万円は、参加者の同意を得て会計へ算入。
3. 助成金、その他
 - ・緑化推進機構より 助成金50,000円決定。
 - ・トヨタ財団よりは、不採用の通知。
 - ・日本財団よりは申請受理の連絡（決定では無い）
 - ・いばらきコープ、12/20日締め切り。今回は、里山の会全体の活動として申請を予定。（例 パンフレット 1000枚で約30,000円）申請希望項目あれば、両宮までメール連絡願います。
 - ・里山歩きより、労金への助成金申請の提案。申請書類を検討し、次回の運営会議にて判断する。
 - ・助成金は、各P単独の申請は不可とし、定款・細則通り、目的、内容等審議のうえ承認を受けての申請とする。課税対象であり、窪木税理士と相談する。
3. 環境フェスタ（12/17日）開催、参加の打診あり。観察の森はフクロウ関係で出展予定。参加については、代表に一任。
4. 牛久市元気づくり委員会、商工会青年部より、牛久城清掃作業への参加依頼。12/4日（日）13：00～16：00で、自由参加とする。
5. 会員の渡辺俊明さん訃報の取り扱いについて審議。
 1. 会員の訃報に関しては、今後とも何もしない。
 2. 会報に訃報をのせる事を原則とする。
 3. 親族の了解をとり、了解の場合に限り、会報に訃報を載せる。
 以上の3案が出て、採決の結果2案を全員一致で採決。親族の了解は、各P代表又は会代表が行う。

【プロジェクト報告】

省略
【事業報告（観察の森以外）】

1. あやめ園
除草作業がほぼ終了。12月は、月曜日みの活動となる。
2. クリーンディ
20日（日）実施、会23名、森5名、交流会は地元の人7名が参加。
地元の人達により集会場でゴミ焼きがあった、ゴミの焼却は有害物質をまき散らしているのと同じとの意見がある。（「廃棄物の野焼き禁止」の資料を配付）次回は、可燃のポリ系ゴミは焼却場へ運ぶ等、地元への啓発になるよう配慮する事とする。

【観察の森運営報告】

1. 指定管理者の審議は、12/7日の予定、希望者は議会を傍聴下さい。
12日に議決予定。仮協定の調印済みであり、次回の理事会では詳細の報告が可能。
2. 観察の森入り口の市道に「スピード落とせ」のペイント施工実施。
数年来の希望だったが、指定管理者制度を脱み、市民からの希望の形で、即実施となった。入り口の信号は、順番待ちの状態。
3. カップ沼近くの大杉に亀裂があり、3月までに伐採予定。

【今月の課題】

1. 会計、会員管理、広報のNCでの一元管理化
「現状の問題点」
 1. 新規会員への定款・細則の送付、会員証の作成（写真撮影）等が数ヶ月かかるケースがある。
 2. 会報原稿集まりが悪く、連絡方法も統一されていない。事実上1名の作業となっており負担が大きい。
 ・来期よりの改変案として、
 1. 会計は菅谷さんの常勤とする。
 2. 会報担当を丸山さんに移管する。
 3. 事務処理担当を常勤とする（指定管理者制度予算内で）等を考慮。
会員管理については現状の新規会員への対応を早急に実施。会員管理と会計は信用問題に係わる重要事項と認識し、次年度にはシステム構築が必要。各会員の所属プロジェクトの確認も進める事とする。
2. 事故報告処理及び安全意識の向上
 1. ソパPの事例より、事故報告の取り扱いを確認。責任者より事故報告書の提出を徹底する。
 2. 保険適用事故予防のため、各P責任者を対象に安全打ち合せを実施。
 3. 広報で、安全対策の充実を呼びかける。
 4. 観察の森では毎月の安全確認、年3回での屋外安全教育を実施している。屋外安全教育への各P代表者の参加も検討する。

【まとめ（決定事項の確認）】

1. 助成金申請は、理事会承認事項である。
2. 会員の訃報は、家族の了承を得て広報に掲載する。
3. 事故発生時の報告書提出の確認、各P代表への安全教育実施を具体化。
4. 定款・細則で決定した呼称の徹底化

【次回審議事項】

1. 指定管理者制度の市議会審議内容の連絡及び今後の計画
2. 会員管理、会計、広報のNC一元管理

雑木林畑隊 プロジェクト

雑木林の冬の仕事

11月26日（土） 炭焼き

今期初めての炭焼き（初窯）、立派な炭ができるよう炭神様にお祈りしお神酒でのどを湿らした。春に焼き上げた炭の取り出しがあり、案内を差し上げた皆さんが参加され大変喜ばれ、帰りには炭を持って帰っていただいた。

11月27日（日） コジケイの森

今日は炭焼きと並行作業。昨月に引き続き高木の伐採。参加者が少ないので午後からは片付けと予定したが、昼食後伐採をおこなっている。気持ちはわかるが、また片付けが大変。一日の作業予定の確認をしっかりとしなければ。

11月29日（火） コジケイの森

コジケイの森（雑木林）の更新が遅れてる。月一回の作業では難しいのが現状である。全員が参加できる休日を活動日としていたが第4火曜日を園内活動日（コジケイの森）とした。よって応援隊は月3回の定例活動日となりました。休日は参加できなかった人、待ってます。この日は27日に行った後片付けと、森の奥の整備を行った。

12月6日（火） コジケイの森

前回片付けが不十分だったので臨時応援隊。作業中植物観察グループの方から、木は全部切り倒すのですかと聞かれた。そうだと答えると、寂しくなりますねと言われた。三浦さんが雑木林は・・・と説明し、理解していただいた。私も区画を全部切るのは寂しくなるので数本残して、周りが育った後切り倒したらと思っていた。森の作り方の考えです。コジケイの森を見続ける森の主としての木を残すことを決めてもいい、と三浦さんが言う。このことはレンジャーの方そして皆さんと考えていきたい。とりあえず、カキの木があり鳥たちがついばんでいるのでこの木は残したい。

12月11日（日） ムジナの里

先月に続き入り口横の竹林の整備。今日で終わらせるつもりであったが奥行きが深く、道路脇は日当たりが良いので密生している。来月の作業で終わりにしたい。ひたいに汗した者のみ春の恵みは得られる。

竹越さんがザクロの苗木を持ってきてくれた、小野川沿いの鉄塔が見える果樹園（将来）に植えた。果樹園構想、観察舎の周りに果樹が植えてある、結束（牛久）近在の農家にある果樹（地域種・遺伝子）を大切にとの考えであるとのこと。同様の考えで多くの果樹を植えようと思う、手のとどくところは私たちが食べ、高いところは鳥たちに、落ちた実は虫たちにと考えている。カキ、すもも、びわ（?）、カリン（?）、マンゴー（×）、イチジク、ヤマモモ、パパイヤ（×）ゆず、ミカン、スダチ等々、クリはあります。（×）の果樹は遠慮していただき、実り豊かな果樹園を作りたい。苗木あるいは挿し木のできる枝をお持ちの方、手に入れられる方、持ち寄られたい。 お願いいたします。

（記 飯田）



苗木（ザクロ）の植え付け



竹林の整理

じゃがいも&そば プロジェクト

育つ楽しみ 味も格別!

大いも煮会

11月6日はヤーコン、里芋の収穫。参加者は春のじゃがいもプロジェクトの面々14名。大豊作でした。作業も時間がかかりましたが、飯田さんのレシピによるいも煮会です。買い込んだ材料はタッブリ牛肉も入って、お腹がパンパンになるほど食べました。そのあと、残った汁で作ったカレーうどん。もう食べられないといった人たちのお腹にまたまた入ったのです。寒い日でしたが、幸せな思いの1日でした。親子づれの多いプロジェクトでしたので、子どもたちの参加を楽しみにしていたのですが、一組もありませんでした。参加費の設定が悪かったかなと思っています。

そば打ち

12月3日参加者22名で「二八そば」を打ちました。普通は1人100g見当で打つのですが、1グループに2つ作ったので思い切り食べられ楽しめたようです。講師は秋山八重子さん。飯田喜美ちゃんのユズの皮を刻んでくれます。本多昭子さんの辛味大根も時間がたつほどに辛くなってきてそばの味を引き立ててくれました。昨年、一昨年と10Kgの粉の収穫でしたが今年は「3~4年に一度の豊作（堤製粉の奥さんの言葉）」で22Kgの粉が取れました。望んでいた緑のそば粉実現しませんでした。どうすればできるのだろうか？来年の課題です。（記 横山）

参加者の言葉

- ・2度目の参加です。とても美味しくできました。来年も楽しみ。
- ・すべりこみ参加させていただき、楽しかったです。
- ・最高のそば打ち体験、うまかった。来年はそば作りから来ます。
- ・そば打ちに個性がでた。
- ・今日のため今までの行程でした。美味しい体験でした。
- ・種まきからの初体験。そばを食べる時はもっと感謝して食べます。
- ・とてもたのしかったよう～、とてもそばおいしかった。

里山百選 プロジェクト

まだまだ小野川を行く

12月9日冬晴れで冷たい風の吹く中を小野川沿いの上太田地区を撮影しました。途中、畑の中でゴミを燃やしている農家の婦人がいたので、畑の中に点在しているラッカセイを収穫した後の茎を積んであるが乾かした後どうするかと、聞いたところ畑の土が風で舞い上がるのを防ぐため畑に撒いて置くそうです。

撮影終了後、小野川対岸の森の中にある、岡見城、城址を見に行きました。森の下で車を降り、獣道のような、所を通り杉の倒木を跨ぎながら森を抜けると城跡の記念碑があるだけで回りは、竹林と杉林に覆われていて昔の面影がありませんでした。（記 戸塚）



上太田にて

活動報告



各プロジェクト活動を紹介しています。より詳しくはホームページもしくは森の掲示板をごらんください。

里山歩き プロジェクト

自然の妙味に驚き

17日中根地区を歩きました。「貝塚中根線と常磐線、6号の間」中根小周辺に集落がありマンションや新しく警察署も出来急速に開発が進んでいます。普段めったに訪れる事はありません。そのマンション～ガーデニング風の花、木を観ながら手入れのある竹林へ。よく実のったナンテン1.5メートルほどのマンリョウが数本あり縁にはタカアザミ、ヒヨドリバナの咲いた後、タチツボスミレ、ジュニヒトエ、などが春を待っています。又愛宕神社にはエゴの木にまとわりついたキツタがあり直径20センチほどの大木？になっていてしかも独立した樹木になっていました。さらに中根小の南の斜面にはエゴに絡みつくとツルマサキが根元は細いツルだがその幹は天空を目指し枝は横に大きく張り出し何と葉が大きく普段見慣れているマサキの印象とまったく違うものでこれも自然のなせる技なのか。この斜面にはヤブツバキがたくさんありました。ムラサキシキブ、サワフタギ、ノイバラ、アオツツラフジ、イボタ等の実も味わってみました。貯水池もありカモが飛来しています。里山歩きは植物や自然やその地区の雰囲気を楽しむながらゆっくり歩きます。



中根地区を8500歩ほど歩いた後。

こども星見隊 プロジェクト

里山の星空を楽しむ

こども星見隊に関わるようになって早三年、責任者になってからは二年が過ぎた。

これまで活動が続けることができたのはたくさんの人達に支えられてのこと。感謝の気持ちでいっぱいである。

「里山の星空をみんなで楽しみたい」という思いでやってきた。牛久自然観察の森やムジナの里という素晴らしい環境で大地と空、両方一緒に楽しむ活動ができたのは本当に幸せであった。里山という身近な自然の中で見る空はとも美しく、感動する。今後もこの感動を多くの人に伝え、人とふれあい自然とふれあい、里山の星空を一緒に楽しむ仲間を増やしていけたらいいと思う。里山の星空未体験の方はぜひ一度星見隊にご参加あれ！

（記 阿部 真奈美）

1月の里山カレンダー

 =観察の森休園日
 =休日
 NC=ネイチャーセンター P=駐車場 PS=パートナーシップ事業 (受)=受託事業 中央セ=中央学習センター BC=ボランティアセンター

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 森のレクチャー 10:00 NC 運営会議 9:30 NC 雑木林応援隊 9:00 炭小屋
8 雑木林応援隊 9:00 炭小屋	9 アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P 雑木林応援隊 9:00 炭小屋	10	11	12 ありんこクラブ 13:00 NC 雑木林応援隊(畑) 13:00(畑)	13 里山百選 9:30 森P 会計事務	14
15	16 アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P	17 会計事務	18	19	20 PSホテル 9:00 NC	21 里山歩き 9:00 森P
22 雑木林応援隊 9:00 NC	23 アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P	24 雑木林応援隊 9:00 NC 会計事務	25 雑木林応援隊(畑) 13:00(畑)	26	27 PS里山間き取り 9:30 NC	28
29	30 アヤメ(受) 9:00 アヤメ園P 会報原稿締切り	31 会計事務	2/1 会報編集 9:30山田宅	2/2 会報発送 10:00 BC		

※ 活動日、会報の編集発行は都合により変更になる場合があります。最新版はHPを参考にご覧下さい。



お知らせ



● こども星見隊 開催のお知らせ

みなさん、土星の輪を見たことがありますか？
こども星見隊では、ゆっくりとこころゆくまで観察していただくことができます。

日時：2月4日(土) 19:00~21:00 (受付18:30から)
場所：牛久自然観察の森 ネイチャーセンター
講師：田中千秋さん(天体写真家)ほか
内容：天体望遠鏡で土星・月・星雲を観察します。また、星座解説も行います。

※小雨・曇天の場合はスライド上映、手作りでプラネタリウムを作成する予定です。

対象：小学校4~6年生の親子20組・40名程度
費用：一般200円/うしく里山の会会員は無料
※手作りプラネタリウム実施の場合は別途材料費300円
申込み：1月14日(土) 9:00~

電話又は直接、牛久自然観察の森へ

主催：NPO法人 うしく里山の会、牛久自然観察の森
問合せ：うしく里山の会 u_satoyama@infoseek.jp
牛久自然観察の森 TEL 029-874-6600

● 寒い季節は身体がごえがちです。

安全面に充分注意をはらって楽しい活動をして下さい！

● スター・ウォッチング(全国星空継続観察)

全国一斉に行われるイベントに、こども星見隊は協力しています。そんな観測会にみなさまも協力してみませんか？どなたでも参加可能です。

日本中の人々が同じ時間に同じ星を双眼鏡で観測しているなんてちょっとステキだと思いませんか！？

日時：2006/1/18(水)~1/31(火)のいずれかの日 18:00頃から開始。

※大気環境調査の星空観察なので、晴天時に実施します。

「ちょっとやってみたいな」という方は、お問合せ下さい。

場所：ムジナの里

問合せ：阿部真奈美 029-872-8810(留守電/FAX)

● 雑木林応援隊 1月活動予定

1月7~9日 炭小屋 9時 炭焼き

1月 22日 NC 9時 コジケイの森整備

1月 24日 NC 9時 コジケイの森整備

● 訃報

会員の渡辺俊明さんが11月にお亡くなりになりました。
畑塾、森の講座(山の暮らし)、雑木林応援隊で活躍されて作物のエキスパートでした。
ご冥福をお祈り致します。